

大学院科目の履修について

2019 (H31) 年度入学生向け

2021. 4. 7

工学部環境社会デザイン学科

2014 (平成 26) 年度から、理工学研究科博士前期課程のカリキュラムが改定されたことに伴い、工学部在籍中に博士前期課程の科目を履修することが可能となりました。工学部の各学科を卒業後、博士前期課程への進学を考えている学生のみなさんにとっては、これにより、進学後の学習に余裕ができるとともに、研究活動に打込む時間を増やしたり、通常 2 年間の博士前期課程を短縮して修了したりすることも可能となっています。

工学部履修案内ー平成 30 年度入学生適用 (2018 年度) より抜粋

Ⅲ工学部共通履修指導要項 (p. 15～20)

6. 大学院科目の履修について (p. 17)

大学院理工学研究科博士前期課程の科目を履修することができる。修得した単位は学部卒業要件には含まれないが、大学院理工学研究科博士前期課程に進学した際に所定の手続きを取ることで修了に必要な単位として認定される。詳細は別途周知する。

Ⅳ学科別履修指導要項

環境社会デザイン学科 (p. 40～45)

9. 大学院理工学研究科博士前期課程(環境システム工学系専攻)の開講科目の履修(p.44)

本学科では、「課題探求型演習Ⅱ」の履修要件を満たす学生 (取得済みの学生も含む) に限り、4.2 に記載されている履修登録単位数の上限の範囲内で、大学院理工学研究科博士前期課程の開講科目を履修することが認められている。これらの科目の単位を修得した場合、**5**および**6**に記載している単位数に含めることはできないが、卒業後に博士前期課程へ進学した際には、修了に必要な単位数に含めることが可能となっている。なお、履修登録が可能な博士前期課程科目の詳細については、別途周知する。

< 参 考 >

4. 履修上の留意点

4.2 履修登録単位の制限 …… CAP 制 (原則として連続する 2 タームあたり 24 単位)

5. 課題探求型演習Ⅱ、テーマ研究及び卒業研究の履修要件

5.1 課題探求型演習Ⅱ …… 課題探求型演習Ⅰを含む 76 単位以上

5.2 テーマ研究 …… 課題探求型演習Ⅱを含む 92 単位以上

5.3 卒業研究 …… テーマ研究

6. 卒業要件 …… 卒業に必要な修得単位数 124 単位以上

<<<<< 大学院科目の履修登録方法 >>>>>

大学院科目の履修登録は、通常の履修登録システムを通してではなく、申請書を提出することによる登録となります。履修登録希望者は、以下の手順で工学部係に直接申請して下さい。

- 1) 工学部係で「大学院履修登録申請書」を受領する（別添資料1参照）。
- 2) 履修希望科目の担当教員から履修許可（押印またはサイン）をもらう。
- 3) 申請期間内に工学部係へ提出する。
- 4) 各自で登録内容の確認を行い、変更や修正があれば期限内に工学部係へ申し出る。

★履修登録申請期間、登録内容確認期間などの詳細は工学部係に確認すること。

大学院科目履修における注意事項

- ・課題探求型演習Ⅱの履修要件を満たす学生（取得済みも含む）に限り、3年次の第3ターム以降、大学院科目の履修が可能である。
- ・大学院科目の履修登録に際しては、通常の科目と同様に、CAP制（履修登録単位の上限に関する規定）の対象となるので注意すること。
- ・大学院科目は「自由科目」区分での取り扱いとなり、GPAの算定対象には含まれず、また、テーマ研究の履修要件および卒業要件で規定される単位数にも含まれないので、くれぐれも注意すること。
- ・原則として、理工学研究科博士前期課程の科目は全て履修登録することが可能であるが、学部生による履修を認めていない科目が一部ある（例えば、社会基盤特別研究Ⅰ・Ⅱなど）ので、履修登録の際には、各科目の担当教員の許可を必ず得ること。
- ・環境システム工学系専攻環境社会基盤国際コースでは、環境社会デザイン／建設工学科における専門科目と、大学院の高度な専門科目との間をよりスムーズに接続可能とするための「学部・博士前期共通科目」が設定されている。学部生が大学院科目を履修する場合には、この「学部・博士前期共通科目」をまず履修することが望ましい（別添資料1参照）。
- ・環境社会デザインカリキュラムと環境社会基盤国際コースカリキュラムとの関係、および「学部・博士前期共通科目」に指定されている科目などの詳細は、別添資料2を参照のこと。
- ・大学院科目は、年度によって開講されていない科目があるので、大学院シラバスおよび「令和3年度（2021）時間割 大学院理工学研究科（博士前期課程）」を必ず参照すること（申請書と一緒に学務係にて配布）。
- ・大学院博士前期課程へ進学した際の単位認定（10単位まで）の詳細については、別途周知する。

工学部環境社会デザイン学科／環境システム工学系専攻環境社会基盤国際コース
2021（令和3）年度 「学部・博士前期共通科目」 一覧

2021. 4. 7

開講元	区分	科目名	期・時限	担当教員(R3)
博士前期	専攻－A群 (コース共通)	地盤環境工学特論(E)	4T・火木3	川本
博士前期	専攻－B群 (コース専門)	計画数理特論(JE)	1T・月4-5	小嶋
博士前期	専攻－B群 (コース専門)	Finite Element Analysis (JE)	1T・月水1	奥井・浅本
博士前期	専攻－B群 (コース専門)	地盤材料学(E)	1-2T・木1	桑野
博士前期	専攻－B群 (コース専門)	構造振動の実践シミュレーション(JE)	1-2T・金1	党
博士前期	専攻－B群 (コース専門)	土木のための AI とデータサイエンス (JE)	3-4T・月2	党・加藤

注 意 事 項

1) 科目名の後についている記号の意味は以下の通り。

(E) : 原則として全て英語で行われる講義

(JE) : 日本語・英語併用で行われる講義

無印 : 原則として全て日本語で行われる講義

環境システム工学系専攻 環境社会基盤国際コース 修了要件 (R3 年度博士前期課程入学生向け規定)

- 1) コース共通科目 (A群) から4単位以上、コース専門科目 (B群) から必修科目10単位、選択科目8単位以上を含め、合計30単位以上を修得すること。
- 2) 英語で開講される選択科目から6単位以上を修得すること。言語の異なる同一講義の単位は、どちらか一方の科目を修了単位として認める。
- 3) 社会基盤特別研究Ⅱを履修するには、社会基盤特別研究Ⅰの単位を修得していなければならない。
- 4) 社会基盤特別研究Ⅲはベトナム国立建設大学とのジョイントマスタープログラムの履修者のみ受講でき、その場合、社会基盤特別研究Ⅰ及びⅡを履修する必要はない。
- 5) #印の科目は埼玉大学工学部開講科目であるが、学部で未履修の場合に限り、2単位まで修了単位として認める。

※ 必修科目とは、「社会基盤特別研究Ⅰ」(4単位) および「社会基盤特別研究Ⅱ」(6単位) の2科目である。

※ 「英語で開講される選択科目」とは、科目名の末尾に(E)と記載されている科目のみである。

※ 通常の場合、「社会基盤特別研究Ⅰ」は博士前期課程1年次に、「社会基盤特別研究Ⅱ」は2年次に履修する。

※ #印の科目とは、「構造力学Ⅲ」(2単位) および「耐震・地震工学」(2単位) の2科目である。

2021（令和3）年度 工学部環境社会デザイン／環境システム工学系専攻 環境社会基盤国際コース 専門科目の流れ

教育課程	工学部 環境社会デザイン（2021年度入学生向け）				博士前期課程 環境システム工学系専攻 環境社会基盤国際コース	
年次 分野	1年次	2年次	3年次	4年次	学部・博士前期 共通科目	その他の コース専門科目
共通	工業力学 理工系基礎教育科目・工学部基礎科目（数学，物理，化学，情報系科目など）				Finite Element Analysis (JE) 構造振動の実践シミュレーション(JE)	
地盤・ 地震系		地盤環境工 学 地圏科学Ⅰ 地震学	地盤工学Ⅰ 地盤工学Ⅱ 地圏科学Ⅱ 建設振動工学 耐震・地震工学		地盤環境工学特論(E) 地盤材料学(E)	地圏システム工学(JE) 地形プロセス学特論(E) 地盤構造学(E) 地盤地震工学特論(E) 耐震工学特論(E) 地震動特論(E) 振動波動解析学特論(JE)
構造・ 材料系		構造力学Ⅰ 建設材料工学	構造力学Ⅱ コンクリート工学Ⅰ	構造力学Ⅲ コンクリート工学Ⅱ	土木のためのAIとデ ータサイエンス(JE)	橋梁デザイン(JE) 環境振動・音響学(E) 構造振動論(E) 非線形構造解析学特論(E) 建設材料特論(E) 鉄筋コンクリート構造工学(E)
水理・ 環境系		水理学Ⅰ	水理学Ⅱ	水圏防災減災工学 環境保全マネジメント		水圏数値解析学(E) 水圏工学実践(JE) 水圏数値解析実践(E) 気候と社会(E)
計画系	地域・都市計画	計画数理	交通システム 建設プロジェクト 測量学	都市防災計画 建築と都市	計画数理特論	交通システム特論(E) 地域・都市計画エクササイズ 建設マネジメント(E) 景観計画論(E)
備考	□ : 必修科目, □ : 指定選択科目, 無印 : 選択科目				□ : 専攻共通科目 □ : A群科目（コース共通科目） 無印 : B群科目（コース専門科目）	